

地理歴史科学習指導案

単元名「近代化と現代的な諸課題」

令和5年10月 指導者 八木 祐亮

I 単元の構想

1 単元観

本単元は必修科目「歴史総合」の「B近代化と私たち」(4)に位置し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について学習する単元である。現代にはこの時期の変化の中で形成された様々な社会課題が存在し、「持続可能な開発目標 (SDGs)」も示すとおり、それらの課題の解決が世界的に目指されているところである。本単元は、こうした様々な社会課題について比較的自由度の高い主題が設定でき、歴史的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題がどのように形成されたのかについて多面的・多角的な考察を生徒に促すことができる。また、それらを通して生徒が日本や世界における近代化の歴史と現代の諸課題との関わりについて理解を深めることができるようになる。

以上のことから、これからの予測困難な時代を生きるための資質・能力を育成する上で、本単元はとりわけ重要であると考えている。

2 研究との関わり

研究主題は「現代的な諸課題の解決を目指し、自ら学びに向かうことのできる生徒の育成 ～パフォーマンス課題の設定とOPPシートの工夫を通して～」とした。「本時で学んだことを単元の課題解決に生かす振り返りがされていない」「自己調整力に課題が見られる」といった生徒の実態から「非認知能力の育成 (「令和5年度県立学校教育指導の重点」)」が重要であることを踏まえ、生徒がより主体的に学びに向かうことができるよう本単元を構成する。具体的には、現代的な諸課題と結び付いたパフォーマンス課題を設定することで、生徒が単元の課題解決に向けて必要感をもって追究できるようにする。また、Google スプレッドシートによるOPP (1枚ポートフォリオ) シートを用いることで、最初の見通しをもちながら追究・修正し、学習した内容をよりよい社会の実現に向けてどのように実行に移せばよいか考察し、構想できるようにする。上記の2つの手立てを通して生徒の学びに向かう力を高め、予測困難な時代を生きるための資質・能力を身に付けさせたい。

3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	現代的な諸課題、特に男女間格差の問題 (「ジェンダー問題」) の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	・ジェンダー問題に端を発する具体的な社会課題について、いくつかは知っているが、その本質に関わる近代化の歴史については理解していない。
思考力、判断力、表現力等	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、ジェンダー問題について平等・格差の観点から多面的・多角的に考察し、表現する。	・ジェンダー問題については昨年度の総合的な探究の時間において考察したことがあるが、歴史的な見方・考え方を働かせて十分に考察できていない。
学びに向かう力、人間性等	ジェンダー問題とその形成に関わる近代化の歴史について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・ジェンダー問題の形成に近代化の歴史が関わっていることを具体的な歴史的な事象を基に認識しておらず、課題を主体的に追究、解決しようとする必要感に欠ける。

4 評価規準

知識・技能	現代的な諸課題、特に男女間格差の問題（「ジェンダー問題」）の形成に関わる近代化の歴史を理解している。
思考・判断・表現	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、ジェンダー問題について平等・格差の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	ジェンダー問題とその形成に関わる近代化の歴史について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全5時間：本時第5時）

過程	時間	<input checked="" type="checkbox"/> ねらい <input type="checkbox"/> 学習活動 <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	<input checked="" type="checkbox"/> 単元の課題解決に必要な感をもつとともに、課題の解決に向けて生徒が見通しをもてるようにする。 <input type="checkbox"/> 単元の課題に対する現段階での自分なりの回答と課題解決のための見通し（調べておくべきこと・理解しておくべきこと等）をまとめる。			○	◆単元の学習課題の解決に必要な感をもち、現段階での自分なりの回答と課題解決に向けた見通しをもつことで、課題を主体的に追究しようとしている。 <OPPシート（主）>
[単元・題材の学習課題・問い等] 19世紀イギリスの男性資本家から受け取った手紙に回答せよ！						
追究する	2 3	<input checked="" type="checkbox"/> ジェンダー問題に関わる歴史資料を分析することを通して、近代化の中で19世紀末の一般的なジェンダー観がどのようなものであったのか、そのような価値観がどのように形成されたのか、どのように解決が図られていったのか等について考察できるようにする。 <input type="checkbox"/> イギリスの中流家庭における性別役割を示す歴史資料（当時の文献や絵画など）、ジェンダー平等に向けた人々の努力を示す資料（「女性の権利宣言」など）を読み取り、歴史的な見方・考え方を働かせて考察する（★）。	●	○		◆現代的な諸課題、特にジェンダー問題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。 <ワークシート（知）> ◆男女間格差の歴史的背景や、解決に向けた人々の努力について歴史的な見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に考察し表現している。 <OPPシート（思）>
	4	<input checked="" type="checkbox"/> 欧米諸国と日本のジェンダー問題に関わる歴史資料を比較することを通して、ジェンダー平等に向けてどのような類似点や相違点があったのか理解する。 <input type="checkbox"/> 前時までの資料と日本における女性の権利向上に関わる歴史資料（津田梅子の言葉、雑誌「青鞥」など）を、歴史的な見方・考え方を働かせて考察する。		○		◆日本におけるジェンダー平等に向けた近代の取組について歴史的な見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に考察し表現している。 <ワークシート（思）>

ま と め る	5 本 時	<p>■ジェンダー問題に関わる前時までの考察を踏まえ、単元の課題に対する自分なりの回答を表現できるようにするとともに、学習した歴史的事象が自分自身にもつ意味を考え表現できるようにする。</p> <p>□前時までの考察を踏まえ、単元の課題に対する自分なりの回答を表現して他者と交流する。また、学習した歴史的事象が自分自身にもつ意味について考え表現する(★)。</p>	●	●	<p>◆ジェンダー問題について歴史的な見方・考え方を働かせ、平等・格差の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p><OPPシート(思)></p> <p>◆ジェンダー問題とその形成に関わる近代化の歴史について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p><OPPシート(主)></p>
<p>[本時のめあて・課題・見通し等]</p> <p>男女平等を目指す現代人として男性資本家への回答を完成させよう。</p>					

II 第5時の学習

1 ねらい ジェンダー問題に関わる前時までの考察をふまえ、単元の課題に対する自分なりの回答を表現できるようにするとともに、学習した歴史的事象が自分自身にもつ意味を考え表現できるようにする。

2 展開

主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 本時のめあてをつかむ。(導入3分)</p> <p>S:今日は単元の課題に対する回答を修正し、完成させるのだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><課題> 男女平等を目指す現代人として男性資本家への回答を完成させよう。</p> </div>	<p>○生徒が前時までの自分の考察を振り返ることができるように、OPPシートを確認させる。</p>
<p>2 前時に作成した回答について、これまでの考察や評価基準をふまえた班形式の意見交換を通して自分の回答を修正する(★)。(展開①25分)</p> <p>S:男性資本家に納得してもらうために、当時の価値観にも理解を示しつつ、その問題点を指摘しないといけないな。</p> <p>S:19世紀当時にも女性の権利向上を求める活動はあった。すべての人が男性のような価値観ではなかったのだから、そうした内容を手紙に入</p>	<p>○生徒が回答をまとめやすくなるように、手紙の内容と評価基準の確認を行う。</p> <p>○生徒が資本家の立場になって回答を考えられるように、簡単な役割演技を取り入れたり、必要な教師側からの発問(男性が説明して欲しいことは何か、何を説明すればよいか、など)を行ったりする。</p> <p>○生徒が他者の作った回答を一般化して自己の回答に反映できるよう、作成に際して工夫した点・男性に回答する上で自分が重要だと思った点についても交流させるようにする。ま</p>

<p>れて理解を求めてはどうか。</p> <p>S：19世紀以前から、すでに人権宣言など自由や平等に関する権利は叫ばれていた。こうした権利意識を女性に当てはめることで、説得力のある返答になるのではないかな。</p>	<p>た、必要に応じて意図的に生徒の回答例を取り上げてクラス全体で検討する。</p> <p>○回答作成が難しい生徒が書き進められるよう、個別の支援の中で学習した歴史的事象を確認する。</p>
<p>3 課題に対する回答を通して、この単元でどのようなことが学べたかOPPシートに記入し交流する(★)。(展開②7分)</p> <p>S：今にも残る性別分業や男女間格差が100年以上も前に、近代化によって形成されたことが分かった。</p> <p>S：男女間の格差の問題に対して、人権宣言のころから人々が取り組み続けてきたことが分かった。</p> <p>S：ジェンダー問題について、近代化の歴史の中でいろいろな立場から考えられた。</p>	<p>○生徒がこの単元で学んだことを今の自分や社会に生かせる知識及び技能、思考力・判断力・表現力にできるように、課題への回答から自分自身が得られたことについて振り返らせるようにする。</p>
<p>4 この単元で学んだことを活かして、自分は今後どのように平等・格差の問題に関わっていきたいか考え、記述する(★)。(展開③10分)</p> <p>S：性別分業のような価値観は近代から現代まで社会に深く根付いていたのだから、まだまだ気付かれていない課題があるかもしれない。そうした社会課題に少しずつ気付いていきたい。</p> <p>S：人の権利が認められる社会を目指しているという点では、近代も現代も変わらないと思った。だから、近代から続いてきた人々の努力を途切れさせず、自分もその一助になりたい。</p> <p>S：ジェンダー問題でもそれ以外でも、不平等な状況に気付いたとき、「女性の権利宣言」を唱えたグージュのように、少数であっても正しいと思うことを主張しないといけない、声を上げていかなければならないと思った。</p>	<p>○生徒が格差の問題について自分事として考えられるように、「自分や自分の周囲に19世紀の男性資本家と同じような意識はまったくないと言えるだろうか。もしあるとすれば、それはどのようなことだろうか。」「現代の格差は、男女間の格差だけなのだろうか。」と問いかけたり、それに関連した資料を提示したりする。</p> <div data-bbox="831 1245 1426 1659" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>ジェンダー問題について歴史的な見方・考え方を働かせ、平等・格差の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p style="text-align: right;"><OPPシート(思)></p> <p>ジェンダー問題とその形成に関わる近代化の歴史について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p style="text-align: right;"><OPPシート(主)></p> </div>
<p>5 この単元の学習でさらに追究してみたいこと・疑問に思ったことなどをOPPシートに記入し、教師の話を聞く(★)。(終末5分)</p>	<p>○D項目(4)の探究活動において生徒が自ら主題を設定して探究ができるよう、さらに追究してみたいことを問いの形式で書き留めさせておく。</p> <p>○教師の話では、格差の問題について生徒が視野を広げられるように、現代に残る格差は男女間格差だけではないことを伝える。</p>

3 板書計画

<p>スクリーン</p> <p>※授業資料スライドの提示（別紙） ※OPPシートの共有部分の表示</p>	<p>男女平等を目指す現代人として男性資本家への回答を完成させよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したところ ・どのように自分自身に生かしていく？
--	---

III 備考

1 単元のパフォーマンス課題の詳細

(1) 課題内容

<p>あなたは現代にやってきた19世紀半ばのイギリス中流家庭の男性（工場経営者：資本家）から怒りの手紙を受け取りました。手紙の内容は以下の通りです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>家で夫を支えなければならない妻が、この時代ではなぜこんなにも外で働いているのだ！？しかも、これでもまだ女性の社会進出が足りないなどと言うではないか…。</p> <p>私が教えてやろう。妻が働きに出るということは、夫の稼^{かせ}ぎが足りず、妻を養えないということだ。愛する妻を守り・養うべき夫の役割を果たしていないということだ。男たちは恥ずかしくないのか！？見ろ、女性が働きに出ているせいで、家事も満足にできていないではないか！子供もさみしそうにしているではないか！</p> <p>…私の時代では、男は男・女は女の役割があった。その方が、男も女も幸せであるはずだ。…一体なぜ、こんな世界になってしまったのか？私たちの時代が間違っていたのか！？私はそれが知りたい。納得できるように、きちんと話してくれ。</p> <p>p.s. 高校生男子、君たちは将来、そんな男に絶対なっ^ははいけない！妻を守り養える、たくましい男になれ。女子、君たちは幸せになりたければ、きちんと男を見る目をもちなさい。女の幸福は妻として夫を支えながら、家庭で心穏やかに過ごすことだ。自分を養えない男と絶対結婚してはいけないよ！</p> </div> <p>あなたなら、この手紙に対してどう回答しますか？歴史的な経緯をふまえ、男女平等を目指す世の中に生きる現代人として誠意をもって回答してください。</p>

(2) 課題における「主体的に学習に取り組む態度」の評価基準

A	追究した多様な歴史的経緯をふまえ、男女平等を目指す世の中に生きる現代人として過去への敬意をもって男性資本家に回答している。また、それらを通して平等・格差の問題を自分事として捉え、具体的な行動につなげようとしている。
B	追究した歴史的経緯をふまえ、男女平等を目指す世の中に生きる現代人として丁寧に男性資本家に回答している。また、それらを通して平等・格差の問題を自分事として捉えようとしている。
C	B基準を満たしていない。

(3) パフォーマンス課題の回答例

A 評価の回答例

- ・あなたもご存じのように、19世紀当時のヨーロッパでは、理想の女性は「家庭の天使」と呼ばれ、家庭で献身的に夫を支えるのが妻の理想像とされました。しかし現代では、その社会常識ではすべての女性が幸福であるとは言えないと考えています。

19世紀の近代化（工業化）によって都市化が進むと、あなたの時代のように、男性は外で仕事をできるようになり、中流家庭の女性は社会と切り離され家庭を守ることが重要（＝性別役割分業）とされるようになりました。しかし実は、フランス革命のころから、グージュをはじめ、たくさんの女性たちが自由や財産権などの男性と同じ権利を求めて活動していました。あなたの時代である19世紀でも、それらの活動家は少数ながらいたはずで、19世紀末以降、そうした活動のおかげで、徐々に女性の財産権や参政権などが保障されるようになりました。我々も、これに見習わなくてはなりません。

女性リーダーの不足など、今の時代も課題は山積みです。しかし、このように19世紀末から20世紀にかけて、女性の権利は世界中で少しずつ認められてきたのです。自分の生き方を自分で決めることは幸福な人生に欠かせないものです。あなたの時代でも、ナポレオン法典のように、「人」が自由に生きる権利・財産を所有する権利が認められてきたことは素晴らしいと思います。だからこそ、「人」には、男性も女性も平等に含まなくてはならないのではないのでしょうか。家庭で夫を支えたい女性もいれば、自由に社会で働きたい女性もいます。現代は、あなたの時代の人権の考え方を引き継ぎ、発展させ、すべての男性と女性が幸福であるための男女平等を目指しているのです。

※下線部…過去に敬意をもち、よりよい社会の実現を目指そうとする姿。

B 評価の回答例

- ・あなたのいた時代と今の時代では価値観が違うのです。あなたの時代の理想の女性像は「家庭の天使」、今は、その理想像が多様化しています。このように女性が働く世界になったのは、フランス革命のころから女性やそれを応援する人々が女性の権利を求めて活動してきたからです。今では女性だって働いているし、家庭を持たない人だっています。むしろ、もっと女性が活躍できるようになったほうがいいのかと思います。

男は男、女は女の役割をしたほうが昔は幸せだったかもしれないけど、女の人だって働きたい人っているし男の人だって家事育児をしたってという人がいるから、男女を気にせず働いたほうが幸せだと思います。

- ・男は仕事・女は家事、という考えがあることを完全に否定はしないが、「その方が幸せであったはず」という考え方は少し違うのではないかと思います。19世紀にも自由な生き方がしたい女性・財産を持ちたい女性がいたし、実際、それらを求めて女性運動が繰り広げられていました。男性で家事をしたかった人もいたかもしれない。

19世紀のような女性を「家庭の天使」とする固定的な価値観だと、すべての人が幸せにはならないのではないかと思います。

2 著作権関係等

- ・Google スプレッドシートは、Google LLC の商標又は登録商標です。なお、本文中には ™ マーク、® マークは明記していません。